

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7369 財政学			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜1限				
教室	J201教室				
代表教員	半谷 俊彦				
担当教員	半谷 俊彦				
テーマと到達目標	政府（国と地方自治体）はさまざまな行政サービスを提供する役割を担っているが、お金を稼ぐ手段を持たないので、役割を果たすためには資金を国民から調達しなければならない。この授業では、政府が活動資金をどのように調達し、管理するかを学ぶ。				
概要	配付資料に従って講義を行い、授業終了後に課題の提出を求める。資料の配付はGoogle Driveを使用して、課題の提出はGoogle Formsを使用して行う。講義の流れは次の通り。1．日本の財政、2．予算制度、3．租税制度、4．公債制度、5．これからの財政政策。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	財政の役割（経済における政府の役割）について理論的に学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第2回	日本政府の財政状況（歳出・歳入・債務残高の状況）について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第3回	予算制度の役割とあるべき制度設計について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第4回	日本政府の会計制度について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第5回	日本政府の予算制度について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第6回	日本政府における公会計改革、特別会計改革、経費抑制政策について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第7回	租税制度の役割とあるべき制度設計について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第8回	日本の租税体系を、課税主体と課税標準による分類を通じて包括的に学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第9回	日本の租税体系の特徴を、負担配分原則に着目して明らかにする。			半谷俊彦	対面授業
第10回	日本の租税体系の特徴を、複数の分類方法を用いて明らかにする。			半谷俊彦	対面授業
第11回	日本の所得税の特徴と問題点について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第12回	日本の法人税と消費税の特徴と問題点について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第13回	公債制度の役割を新古典派経済学と現代金融理論の視点から学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第14回	日本の公債制度の仕組みや特徴について学ぶ。			半谷俊彦	対面授業
第15回	日本の財政について、新古典派経済学と現代金融理論の視点から考える。			半谷俊彦	対面授業
成績評価の基準	満点を100とし、そのうち30点を毎回の授業後に提出を求める課題によって（1回の授業で2点）、70点を学期末試験によって評価する。 試験は持込不可で、基礎知識が身についたかを確認する選択問題と、専門的な視点で問題を考えられるようになったかを確認する記述問題とで構成する。				
履修にあたっての留意事項	授業で使用する資料は、和光メールとGoogle Driveを通じてPDF形式で配付するので、事前に紙に印刷するかノートPC、タブレット、スマートフォンなどのデジタルデバイスにダウンロードして持参すること。 授業を理解度したかを確認する課題を授業終了後にGoogle Formsを通じて配信するので、指定した期日（数日後）までに提出すること。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	
---------------------	--

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし		
教科書	教科書は使用しない。オンラインで資料（P D F ファイル）を配付する。	教科書(ISBN)	
参考文献	必要に応じて授業中に提示する。	参考文献(ISBN)	